

製品安全データシート

作成・改訂2019年7月5日（第1版）

1. 製品及び会社情報

製品名 : ナノパワー・ミラクルMO
製品コード :
会社名 : 株式会社ナスデン
住所 : 東京都千代田区2番町1-2
電話番号 : 03-3239-6931
FAX番号 : 03-3239-6956
推奨用途及び
使用上の制限 : 建設機械リース・整備工場用
整理番号

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性および影響 : 特に記載すべき危険有害性はない

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性（経口）
急性毒性（経皮）
急性毒性（吸入・蒸気）
皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性 区分1
発がん性
生殖毒性 区分1
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露） 区分2
吸引性呼吸器有害性
環境に対する有害性 : 水生環境有害性（急性） 区分3
水生環境有害性（慢性）

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 : なし

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 遺伝子疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響の恐れ
長期にわたる、または反復暴露により臓器（肝臓）の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

：使用前に取扱説明書を入手すること

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

環境への放出をさけること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

[応急措置]

：皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

[保管]

：施設して保管すること。

[廃棄]

：内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成および成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

組成および含有量

化学名または一般名	含有量(%)	PRTR法(1)	化審法(2)	安衛法(3)	CAS No.
界面活性剤					
脂肪酸アルカノールアミド	非公開	—	非公開	—	非公開
ポリ(オキシアルキレン)＝アルキエーテル	非公開	—	非公開	—	非公開
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシル硫酸エステルトリウム	1.0未満	第1種409*	(7)-155	—	9004-82-4
ドデシル硫酸ナトリウム	1.0未満	第1種275*	(2)-1679	—	151-21-3
エタノール	1.0未満	—	(2)-202	No.61	64-17-5
有機酸	非公開	—	非公開	—	非公開
キレート剤	非公開	—	非公開	—	非公開
防腐剤	微量	—	非公開	—	非公開
消泡剤	微量	—	非公開	—	非公開
水	微量	—	—	—	7732-18-5

(1) 化学物質排出把握管理促進法 新規指定化学物質 官報公示管理番号

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物質 政令番号

—:該当しない

※:対象となる濃度下限値(据切値)未満のため該当しない

4.応急措置

吸入した場合

：使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し速やかに通期の良い場所で安静にする。気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

：直ちに水でよく洗い流す。炎症などの異常がある場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合

：眼を擦らず直ちに清浄な流水で15分以上洗い流す事。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

：水で口の中を洗浄し、水又は牛乳を飲ませるなどの処置をし、無理に吐かせないで直ちに医師の診断を受ける。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品は、燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護衣）を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないように注意する。こぼれた場合は滑りやすい為注意する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさない様に注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

除去方法 : 流出物を直接河川や下水に流してはいけない。
少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等で拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

漏出したものをすくい取り、又は掃き集めて紙袋・ドラム等に回収する。
回収後の少量の残留物は土砂またはおがくず等に吸収させる。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : 歓喜の良い場所で取り扱う。取扱いの都度、容器を密閉すること。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
保護手袋及び保護眼鏡を着用する。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
冷却すると凝固するので、冬季には温度降下に注意する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光、高温多湿、凍結の恐れがある場所を避け密閉し冷暗所に保管する。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管はさけること。

安全な容器梱包材量 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : STLV- STEL 1000ppm (2009年度版) 【エタノール】

保護具 呼吸器の保護具 : 特に必要としない。

手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。

眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護 : 必要に応じて保護衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色～淡黄色透明液体
臭い	: 原料臭
pH (原液)	: 7.5 (代表値)
融点・凝固点	: データーなし
沸点初留点と沸騰範囲	: データーなし
引火点	: 引火性
自然発火温度	: データーなし
燃焼性	: データーなし
燃焼又は、爆発範囲 下限、上限	: データーなし
蒸気圧	: データーなし
蒸気温度	: データーなし
蒸発速度	: データーなし
比重(25°C)	: 1.02 (代表値)
溶解性	: 水と任意の割合で混合する
オクタール/水分係数	: データーなし
分解温度	: データーなし

10. 安全性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: 低温(0°C以下)で保管しない。
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。
危険有害な分解生成物	: 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: ポリ(オキシエチレ)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウムはメーカーMSDSより【区分2】に分類されているが、含有量がカットオフ値(10%)以下である為に、JIS分類に従い【分類できない】とした。 (国連分類では【区分3】)。
眼に対する重篤な損傷/刺激	: ポリ(オキシエチレ)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウムはメーカーMSDSより【区分2A】、エタノールは【区分2A-2B】に分類されているが、含有量が区分2のカットオフ値(10%)以下である為、JIS分類に従い【分類できない】とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: エタノールは【区分1B】に分類されており、含有量がカットオフ値(0.1%)を超えているため【区分1】とした。
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: エタノールは【区分1A】に分類されており、含有量がカットオフ値(0.3%)を超えているため【区分1】とした。
特定標的臓器/全身毒性 一単回曝露	: エタノールは【区分3】(気道刺激性・麻酔作用)に分類されているが、含有物がカットオフ値(20%)未満のため、【分類できない】とした。
特定標的臓器/全身毒性 一反復曝露	: エタノールは【区分1】(肝臓)、【区分2】(神経系)に分類されているが、含有量が1.0のため【区分2】の判定基準(10>【区分1】≥1.0を採用し【区分2】(肝臓)とした。
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: ポリ(オキシエチレン) = ドデシエルエーテル硫酸エステルナトリウムはメーカーMSDSより水生環境有害性(急性)【区分2】に分類されており、「分類された成分の加算による混合物の急性有害性分類」から(毒性乗率M×100×急性毒性区分1)+(毒性乗率M×10×急性毒性区分2)+急性毒性区分3>25%=急性毒性区分3より、水生環境有害性(急性)【区分3】とした。
残留性/分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の蓄積性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意:

国際規制	: 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国連分類	: 該当なし
国連番号	
国内規制	
陸上輸送	: 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光・高温多湿・氷点下での保管を避ける。

15. 適用法令:

化学物質排出把握管理促進法 (平成21年10月1日改正)	: 非該当
労働安全衛生法	
危険物	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
表示対象物質	: 非該当
第57条の2第1項通知対象物	: No.61【エタノール】
毒性及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当

16. その他の情報

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター「GHS対応モデルSDS」

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。また、記載事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

記載内容の問い合わせ先

株式会社ナスデン

TEL 03-3239-6931 FAX 03-3239-6956
